

第1章 我が国企業の構造

1. 企業数

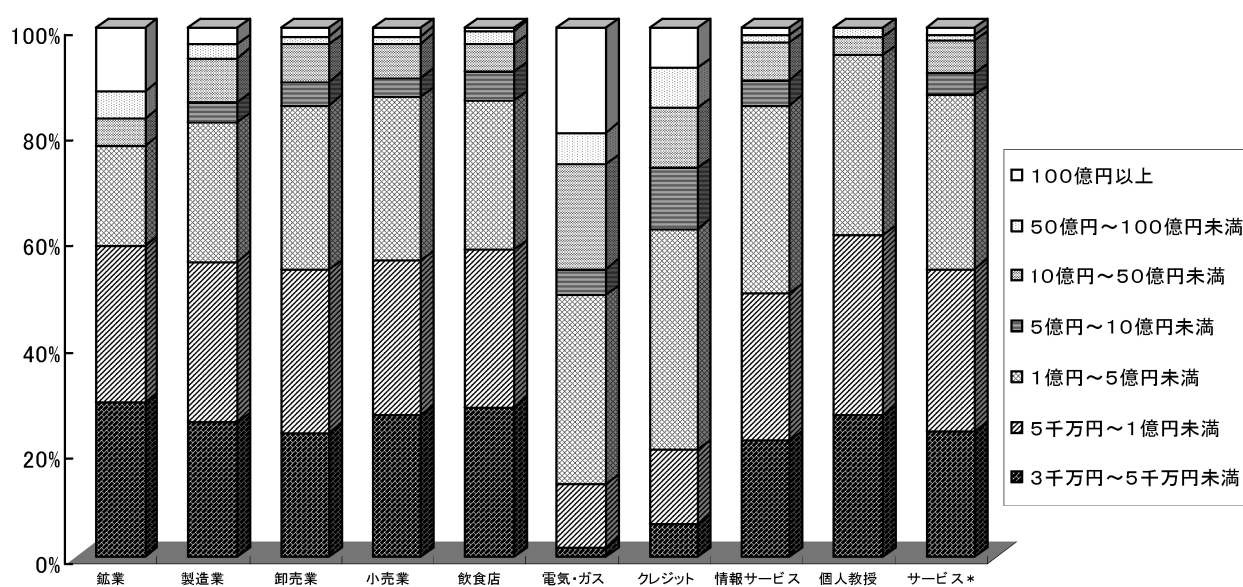
平成14年企業活動基本調査（平成13年度）の調査業種に属する企業は2万6877社となった。産業別構成比をみると、鉱業企業は0.2%（58社）、製造企業49.3%（1万3247社）、卸売企業23.3%（6,251社）、小売企業13.5%（3,634社）、飲食企業1.8%（491社）、電気・ガス企業0.4%（101社）、クレジットカード業・割賦金融企業0.3%（79社）、情報サービス・情報制作企業6.3%（1,692社）、個人教授所企業0.2%（55社）、サービス企業（*）4.7%（1,269社）となった。

資本金規模別に構成比をみると、資本金5千万円未満の企業が24.8%、5千万円以上1億円未満が30.0%、1億円以上5億円未満が29.0%、5億円以上10億円未満が4.0%、10億円以上50億円未満が7.7%、50億円以上100億円未満が1.9%、100億円以上が2.5%となった。

これを産業別にみると、鉱業企業は1億円未満に約6割、製造企業、卸売企業、小売企業、飲食企業は、いずれも5億円未満に8割が集中した。電気・ガス企業、クレジットカード業・割賦金融企業、情報サービス・情報制作企業、サービス企業（*）は、1億円～5億円未満に3～4割となった。個人教授所企業は、5億円未満の企業が9割強となった。

また、100億円以上の構成比が高い産業は、電気・ガス企業、鉱業企業、クレジットカード業・割賦金融企業となった。

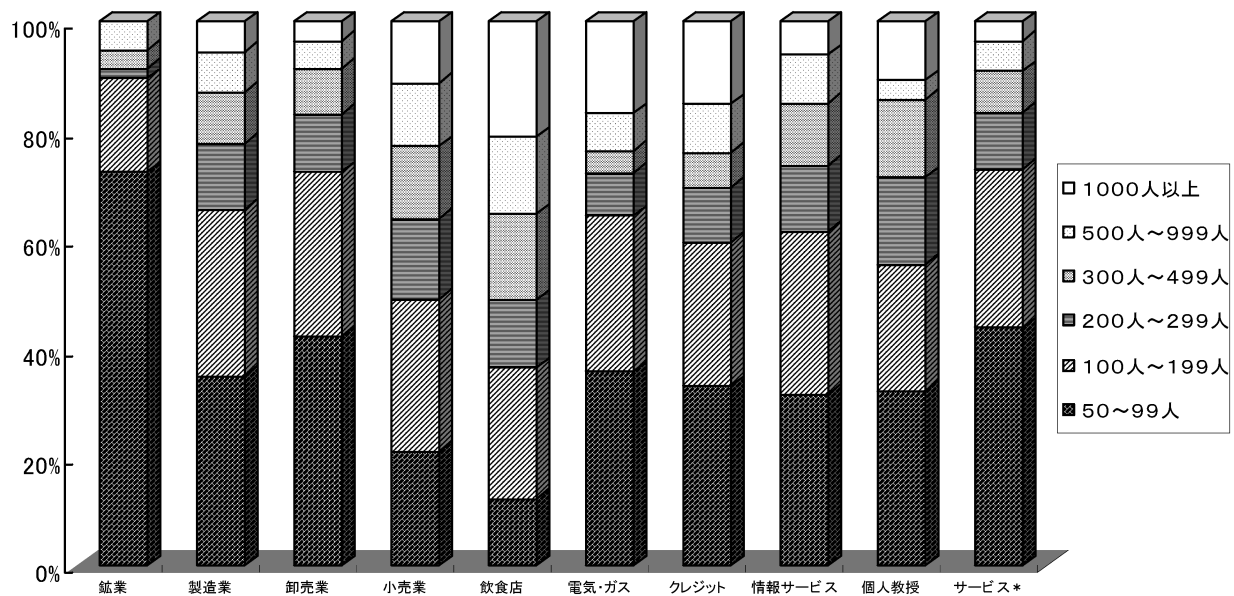
産業別資本金規模別構成比



常時従業者規模別の構成比をみると、50人以上100人未満の企業が34.5%（9,270社）、100人以上200人未満が30.0%（8,053社）、200人以上300人未満が12.0%（3,219社）、300人以上500人未満が9.9%（2,654社）、500人以上1,000人未満が7.6%（2,044社）、1,000人以上が6.1%（1,637社）となった。

これを産業別にみると、鉱業企業は、50人以上100人未満に約7割、製造企業、卸売企業、電気・ガス企業、情報サービス業・情報制作企業、サービス企業（*）は200人未満に約7割が集中した。また、1,000人以上の構成比が高い企業は、飲食企業、電気・ガス企業、クレジットカード業・割賦金融企業となった。

産業別常時従業者規模別構成比



2. 事業所数〔付表2参照〕

- ・企業が保有する事業所数は30万9854事業所、前年度比2.5%の増加。
- ・1企業当たりの事業所数は11.5事業所、前年度に比べ0.2事業所増加。
産業別では、電気・ガス企業、サービス企業（*）等が増加、飲食企業は減少。

企業が保有する事業所数は、本社事業所（本社を含む。）を含めて30万9854事業所となった。このうち、国内にある事業所は30万5325事業所、海外にある事業所は4,529事業所となっている。

保有事業所数

| | | 企業数 | 事業所数 | | 1企業当たり事業所数 | |
|--------------------|--------|--------|---------|---------|------------|-------|
| | | | 国内 | 海外 | | |
| 合計 | 12年度 | 26,695 | 302,192 | 297,504 | 4,688 | 11.3 |
| | 13年度 | 26,877 | 309,854 | 305,325 | 4,529 | 11.5 |
| | 増減率(%) | 0.7 | 2.5 | 2.6 | ▲ 3.4 | 0.2 |
| 鉱業 | 12年度 | 64 | 264 | 244 | 20 | 4.1 |
| | 13年度 | 58 | 253 | 237 | 16 | 4.4 |
| | 増減率(%) | ▲ 9.4 | ▲ 4.2 | ▲ 2.9 | ▲ 20.0 | 0.3 |
| 製造業 | 12年度 | 13,265 | 78,116 | 75,931 | 2,185 | 5.9 |
| | 13年度 | 13,247 | 77,499 | 75,256 | 2,243 | 5.9 |
| | 増減率(%) | ▲ 0.1 | ▲ 0.8 | ▲ 0.9 | 2.7 | 0.0 |
| 卸売業 | 12年度 | 6,414 | 66,586 | 64,654 | 1,932 | 10.4 |
| | 13年度 | 6,251 | 66,092 | 64,327 | 1,765 | 10.6 |
| | 増減率(%) | ▲ 2.5 | ▲ 0.7 | ▲ 0.5 | ▲ 8.6 | 0.2 |
| 小売業 | 12年度 | 3,511 | 99,241 | 99,113 | 128 | 28.3 |
| | 13年度 | 3,634 | 105,456 | 105,341 | 115 | 29.0 |
| | 増減率(%) | 3.5 | 6.3 | 6.3 | ▲ 10.2 | 0.7 |
| 飲食店 | 12年度 | 421 | 34,367 | 34,360 | 7 | 81.6 |
| | 13年度 | 491 | 35,205 | 35,203 | 2 | 71.7 |
| | 増減率(%) | 16.6 | 2.4 | 2.5 | ▲ 71.4 | ▲ 9.9 |
| 電気・ガス業 | 12年度 | 104 | 1,703 | 1,660 | 43 | 16.4 |
| | 13年度 | 101 | 1,746 | 1,725 | 21 | 17.3 |
| | 増減率(%) | ▲ 2.9 | 2.5 | 3.9 | ▲ 51.2 | 0.9 |
| クレジットカード・ 割賦金融業 | 12年度 | 82 | 2,095 | 2,062 | 33 | 25.5 |
| | 13年度 | 79 | 1,743 | 1,707 | 36 | 22.1 |
| | 増減率(%) | ▲ 3.7 | ▲ 16.8 | ▲ 17.2 | 9.1 | ▲ 3.4 |
| 情報サービス・ 情報制作業 | 12年度 | 1,555 | 7,504 | 7,263 | 241 | 4.8 |
| | 13年度 | 1,692 | 8,337 | 8,098 | 239 | 4.9 |
| | 増減率(%) | 8.8 | 11.1 | 11.5 | ▲ 0.8 | 0.1 |
| 個人教授所 | 12年度 | 53 | 1,512 | 1,504 | 8 | 28.5 |
| | 13年度 | 55 | 1,204 | 1,197 | 7 | 21.9 |
| | 増減率(%) | 3.8 | ▲ 20.4 | ▲ 20.4 | ▲ 12.5 | ▲ 6.6 |
| サービス業(*) | 12年度 | 1,226 | 10,804 | 10,713 | 91 | 8.8 |
| | 13年度 | 1,269 | 12,319 | 12,234 | 85 | 9.7 |
| | 増減率(%) | 3.5 | 14.0 | 14.2 | ▲ 6.6 | 0.9 |

(注1)日本標準産業分類の改訂に伴い、12年度の数値は新分類により再集計したものであり、12年度の公表数値とは異なる。

(注2)合計は、鉱業、製造業、卸売業、小売業、飲食店、電気・ガス業、クレジットカード業・割賦金融業、情報サービス・情報制作業、個人教授所及びサービス業(*)の計。

(注3)サービス業(*)は、エンジニアリング業、冠婚葬祭業(互助会を除く)、写真現像・焼付業、ゴルフ場、遊園地・テーマパーク、機械修理業、広告代理業、物品賃貸業(リース業)の計。

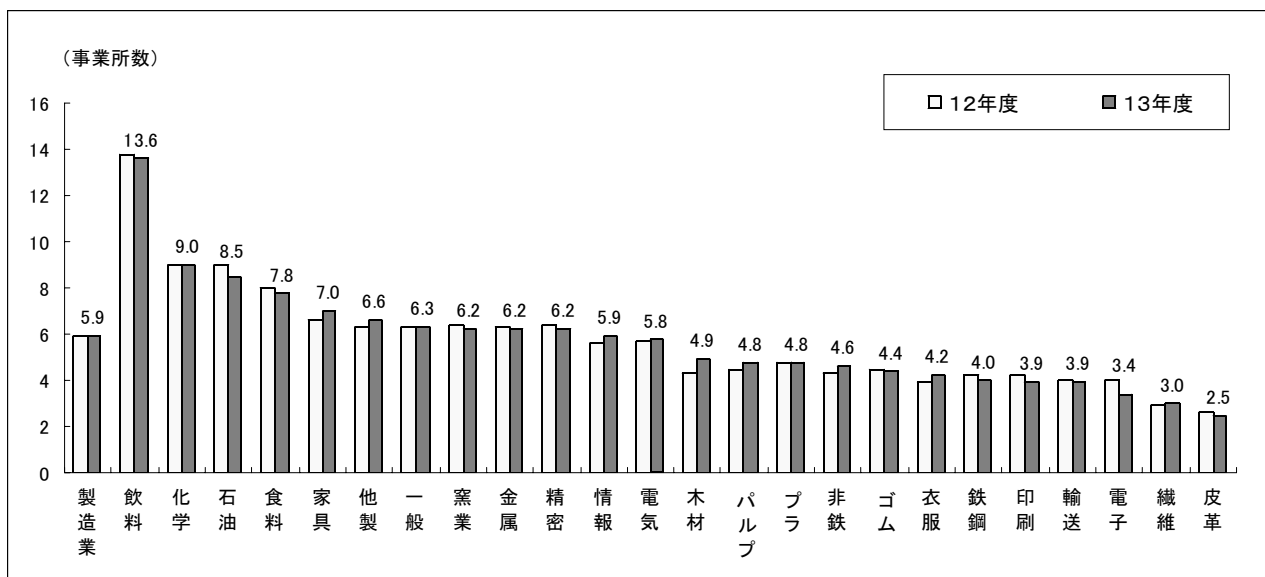
本社・本店事業所は、2万7852事業所、本社・本店以外の事業所は28万2002事業所となった。本社・本店以外の事業所の構成比をみると、商業事業所が65.3%を占め、次いで飲食店の13.2%、製造事業所の7.3%となった。構成比の小さい事業所区分は鉱業事業所の0.1%、外国語会話教室の0.2%であった。

事業所数を産業別にみると、小売企業（10万5456事業所、前年度比6.3%増）、サービス企業（*）（1万2319事業所、前年度比14.0%増）などが増加となった。一方、製造企業、卸売企業は減少となった。

1企業当たりの保有事業所数は、11.5事業所（前年度11.3事業所）と前年度に比べ0.2事業所の増加となった。

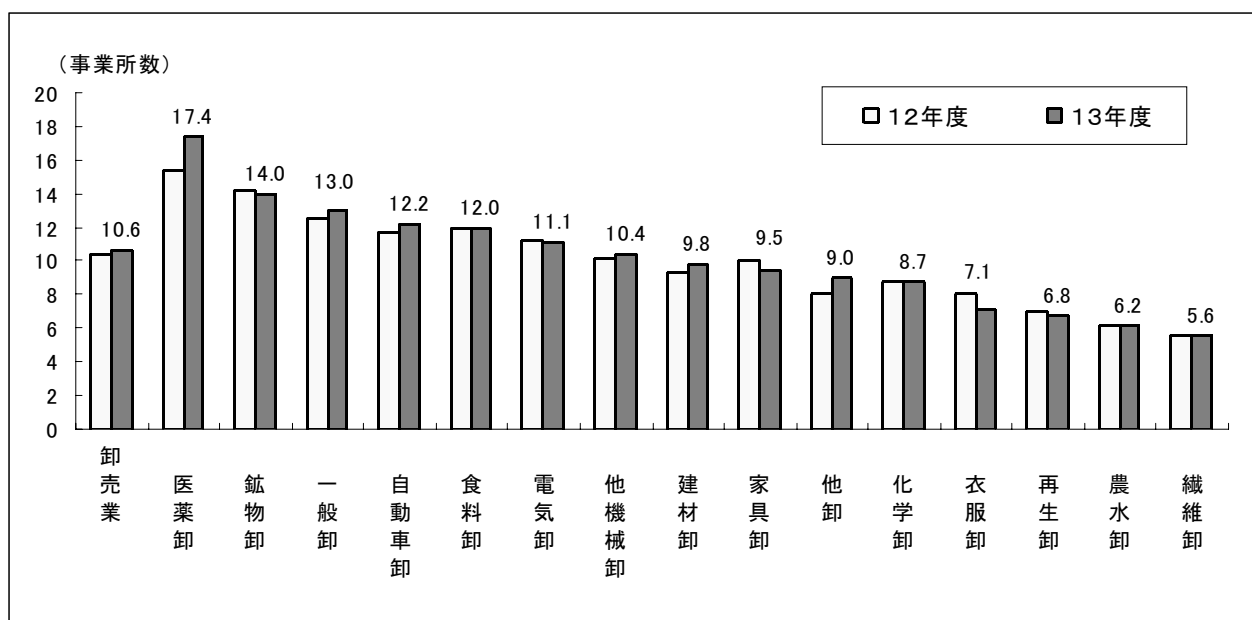
製造企業は5.9事業所（同5.9事業所）で前年度に比べ横ばいとなった。業種別にみると、木材・木製品製造業（家具を除く）をはじめ、24業種中9業種が増加、電子部品・デバイス製造業など12業種が減少、化学工業、プラスチック製品製造業、一般機械器具製造業の3業種が横ばいとなった。

1企業当たりの事業所数（製造業）



卸売企業は10.6事業所（前年度10.4事業所）となり、医薬品・化粧品等卸売業をはじめ15業種中6業種が増加となった。

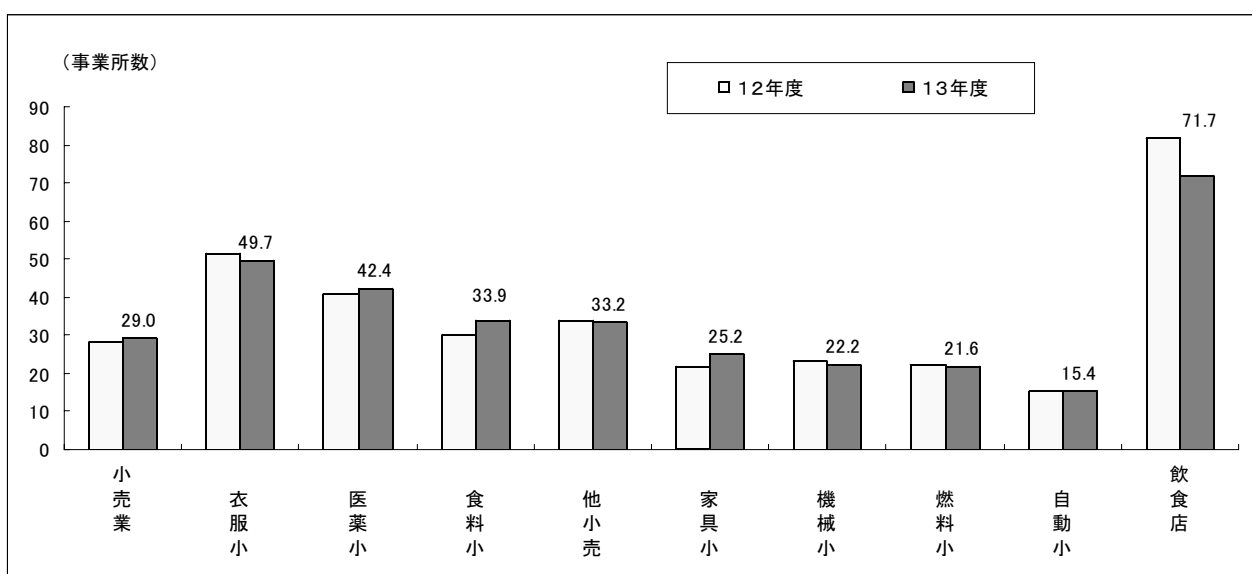
1企業当たりの事業所数（卸売業）



小売企業は29.0事業所（前年度28.3事業所）となり、家具・建具・じゅう器小売業など8業種中4業種が増加、機械器具小売業など4業種が減少となった。

また、飲食企業は71.7事業所（同81.6事業所）と前年度に比べ減少となった。

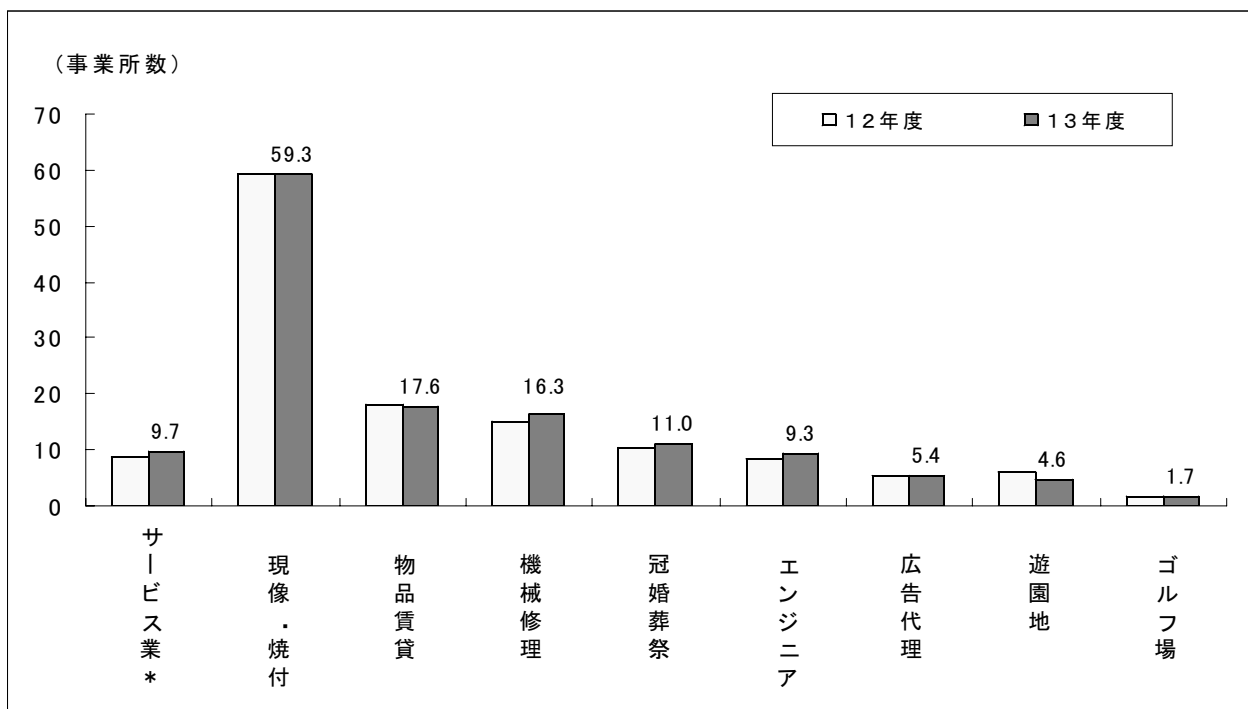
1企業当たり事業所数（小売企業・飲食企業）



電気・ガス企業は、17.3事業所（前年度16.4事業所）、クレジットカード業・割賦金融企業は22.1事業所（同25.5事業所）、情報サービス・情報制作業は4.9事業所（同4.8事業所）、個人教授所企業は21.9事業所（同28.5事業所）となった。

サービス企業(*)は9.7事業所（前年度8.8事業所）となった。業種別にみると、写真現像・焼付業が59.3事業所（同59.4事業所）と最も多く、次いで物品賃貸業（リース業）17.6事業所（同18.0事業所）となった。一方、事業所数が少ない業種は、ゴルフ場1.7事業所（同1.8事業所）、遊園地・テーマパーク4.6事業所（同6.1事業所）となっている。

サービス企業(*)1企業当たり事業所数



3. 雇用の状況

(1) 常時従業者数〔付表3、4参照〕

- ・ 企業の常時従業者数は1044.7万人、前年度比▲0.7%減少。
- ・ 正社員は822.4万人、前年度比▲2.1%減少。
- ・ パートタイム従業者は222.3万人、前年度比5.1%増加。
- ・ 1企業当たりの常時従業者は、388.7人、前年度比▲1.4%減少。

平成13年度の企業の常時従業者は1044.7万人で前年度比▲0.7%の減少となった。このうち正社員は822.4万人で同▲2.1%の減少となったが、パートタイム従業者は222.3万人と同5.1%の増加となった。

産業別にみると、製造企業は503.8万人（同▲3.8%減）で約20万人が減少となった。このうち正社員は、約18万人、パート従業者も2万人と共に減少となった。

卸売企業は、153.1万人（同▲2.0%減）で、3.6万人の減少となった。内訳をみると正社員は、約14.5万人の減少となったが、逆にパート従業者は0.4万人の増加となった。

また、飲食企業は、60.6万人（同3.4%増）で2万人の増加となった。内訳をみると正社員は、11.8万人（同▲15.8%減）で2.2万人の減少、逆にパート従業者は48.8万人（同9.4%増）で4.2万人の増加となった。

一方、小売企業、情報サービス・情報制作業、サービス企業(*)は、正社員、パート従業者ともに増加となった。

1企業当たりの常時従業者数は、388.7人（前年度比1.4%減）、そのうち正社員は306.0人（同▲2.8%減）、パート従業者は82.7人（同4.3%増）となった。

これを産業別にみると、鉱業企業135.4人（同▲15.0%減）、飲食企業1,234.3人（同▲11.3%減）、個人教授所企業399.9人（同▲9.7%減）等が減少となった。

一方、サービス企業が246.2人（前年度比4.7%増）に増加したほか、小売企業583.9人（同0.8%増）、電気・ガス企業1,891.9人（同0.6%増）、卸売企業245.0人（同0.5%増）が微増となった。

雇用形態別常時従業者数(正社員、パート別)

| | | 常時従業者数(人) | | | | |
|----------------------|--------|------------|-----------|--------|-----------|-------|
| | | 正社員 | 構成比 | パート従業者 | 構成比 | |
| 合計 | 12年度 | 10,519,571 | 8,403,521 | 79.9 | 2,116,050 | 20.1 |
| | 13年度 | 10,446,978 | 8,223,981 | 78.7 | 2,222,997 | 21.3 |
| | 増減率(%) | ▲ 0.7 | ▲ 2.1 | ▲ 1.2 | 5.1 | 1.2 |
| 鉱業 | 12年度 | 10,204 | 10,022 | 98.2 | 182 | 1.8 |
| | 13年度 | 7,856 | 7,686 | 97.8 | 170 | 2.2 |
| | 増減率(%) | ▲ 23.0 | ▲ 23.3 | ▲ 0.4 | ▲ 6.6 | 0.4 |
| 製造業 | 12年度 | 5,238,724 | 4,829,828 | 92.2 | 408,896 | 7.8 |
| | 13年度 | 5,037,918 | 4,649,937 | 92.3 | 387,981 | 7.7 |
| | 増減率(%) | ▲ 3.8 | ▲ 3.7 | 0.1 | ▲ 5.1 | ▲ 0.1 |
| 卸売業 | 12年度 | 1,562,747 | 1,386,276 | 88.7 | 176,471 | 11.3 |
| | 13年度 | 1,531,241 | 1,350,615 | 88.2 | 180,626 | 11.8 |
| | 増減率(%) | ▲ 2.0 | ▲ 2.6 | ▲ 0.5 | 2.4 | 0.5 |
| 小売業 | 12年度 | 2,033,045 | 1,038,620 | 51.1 | 994,425 | 48.9 |
| | 13年度 | 2,121,856 | 1,061,346 | 50.0 | 1,060,510 | 50.0 |
| | 増減率(%) | 4.4 | 2.2 | ▲ 1.1 | 6.6 | 1.1 |
| 飲食店 | 12年度 | 586,124 | 139,585 | 23.8 | 446,539 | 76.2 |
| | 13年度 | 606,043 | 117,548 | 19.4 | 488,495 | 80.6 |
| | 増減率(%) | 3.4 | ▲ 15.8 | ▲ 4.4 | 9.4 | 4.4 |
| 電気・ガス業 | 12年度 | 195,665 | 190,919 | 97.6 | 4,746 | 2.4 |
| | 13年度 | 191,080 | 186,496 | 97.6 | 4,584 | 2.4 |
| | 増減率(%) | ▲ 2.3 | ▲ 2.3 | 0.0 | ▲ 3.4 | ▲ 0.0 |
| クレジット・カード業・ 割賦金融業 | 12年度 | 53,969 | 41,103 | 76.2 | 12,866 | 23.8 |
| | 13年度 | 50,689 | 38,693 | 76.3 | 11,996 | 23.7 |
| | 増減率(%) | ▲ 6.1 | ▲ 5.9 | 0.1 | ▲ 6.8 | ▲ 0.1 |
| 情報サービス・ 情報制作業 | 12年度 | 527,262 | 505,750 | 95.9 | 21,512 | 4.1 |
| | 13年度 | 565,830 | 536,757 | 94.9 | 29,073 | 5.1 |
| | 増減率(%) | 7.3 | 6.1 | ▲ 1.0 | 35.1 | 1.0 |
| 個人教授所 | 12年度 | 23,482 | 10,143 | 43.2 | 13,339 | 56.8 |
| | 13年度 | 21,996 | 9,498 | 43.2 | 12,498 | 56.8 |
| | 増減率(%) | ▲ 6.3 | ▲ 6.4 | ▲ 0.0 | ▲ 6.3 | 0.0 |
| サービス業(*) | 12年度 | 288,349 | 251,275 | 87.1 | 37,074 | 12.9 |
| | 13年度 | 312,469 | 265,405 | 84.9 | 47,064 | 15.1 |
| | 増減率(%) | 8.4 | 5.6 | ▲ 2.2 | 26.9 | 2.2 |

(注1) 日本標準産業分類の改訂に伴い、12年度の数値は新分類により再集計したものであり、12年度の公表数値とは異なる。

(注2) 合計は、鉱業、製造業、卸売業、小売業、飲食店、電気・ガス業、クレジット・カード業・割賦金融業、情報サービス・情報制作業、個人教授所及びサービス業(*)の計。

(注3) サービス業(*)は、エンジニアリング業、冠婚葬祭業(互助会を除く)、写真現像・焼付業、ゴルフ場、遊園地・テーマパーク、機械修理業、広告代理業、物品賃貸業(リース業)の計。

(注4) 構成比の増減率(%)は前年度差。

1企業当たりの雇用形態別常時従業者数

| | | 常時従業者数(人) | | | |
|---------------------|--------|-----------|---------|---------|-------|
| | | | 正社員 | パート | パート比率 |
| 合計 | 12年度 | 394.1 | 314.8 | 79.3 | 20.1 |
| | 13年度 | 388.7 | 306.0 | 82.7 | 21.3 |
| | 増減率(%) | ▲ 1.4 | ▲ 2.8 | 4.3 | 1.2 |
| 鉱業 | 12年度 | 159.4 | 156.6 | 2.8 | 1.8 |
| | 13年度 | 135.4 | 132.5 | 2.9 | 2.2 |
| | 増減率(%) | ▲ 15.0 | ▲ 15.4 | 3.1 | 0.4 |
| 製造業 | 12年度 | 394.9 | 364.1 | 30.8 | 7.8 |
| | 13年度 | 380.3 | 351.0 | 29.3 | 7.7 |
| | 増減率(%) | ▲ 3.7 | ▲ 3.6 | ▲ 5.0 | ▲ 0.1 |
| 卸売業 | 12年度 | 243.6 | 216.1 | 27.5 | 11.3 |
| | 13年度 | 245.0 | 216.1 | 28.9 | 11.8 |
| | 増減率(%) | 0.5 | ▲ 0.0 | 5.0 | 0.5 |
| 小売業 | 12年度 | 579.1 | 295.8 | 283.2 | 48.9 |
| | 13年度 | 583.9 | 292.1 | 291.8 | 50.0 |
| | 増減率(%) | 0.8 | ▲ 1.3 | 3.0 | 1.1 |
| 飲食店 | 12年度 | 1,392.2 | 331.6 | 1,060.7 | 76.2 |
| | 13年度 | 1,234.3 | 239.4 | 994.9 | 80.6 |
| | 増減率(%) | ▲ 11.3 | ▲ 27.8 | ▲ 6.2 | 4.4 |
| 電気・ガス業 | 12年度 | 1,881.4 | 1,835.8 | 45.6 | 2.4 |
| | 13年度 | 1,891.9 | 1,846.5 | 45.4 | 2.4 |
| | 増減率(%) | 0.6 | 0.6 | ▲ 0.5 | ▲ 0.0 |
| クレジットカード業・ 割賦金融業 | 12年度 | 658.2 | 501.3 | 156.9 | 23.8 |
| | 13年度 | 641.6 | 489.8 | 151.8 | 23.7 |
| | 増減率(%) | ▲ 2.5 | ▲ 2.3 | ▲ 3.2 | ▲ 0.1 |
| 情報サービス・ 情報制作業 | 12年度 | 339.1 | 325.2 | 13.8 | 4.1 |
| | 13年度 | 334.4 | 317.2 | 17.2 | 5.1 |
| | 増減率(%) | ▲ 1.4 | ▲ 2.5 | 24.2 | 1.0 |
| 個人教授所 | 12年度 | 443.1 | 191.4 | 251.7 | 56.8 |
| | 13年度 | 399.9 | 172.7 | 227.2 | 56.8 |
| | 増減率(%) | ▲ 9.7 | ▲ 9.8 | ▲ 9.7 | 0.0 |
| サービス業(*) | 12年度 | 235.2 | 205.0 | 30.2 | 12.9 |
| | 13年度 | 246.2 | 209.1 | 37.1 | 15.1 |
| | 増減率(%) | 4.7 | 2.0 | 22.6 | 2.2 |

(注1) 日本標準産業分類の改訂に伴い、12年度の数値は新分類により再集計したものであり、12年度の公表数値とは異なる。

(注2) 合計は、鉱業、製造業、卸売業、小売業、飲食店、電気・ガス業、クレジットカード業・割賦金融業、情報サービス・情報制作業、個人教授所及びサービス業(*)の計。

(注3) サービス業(*)は、エンジニアリング業、冠婚葬祭業(互助会を除く)、写真現像・焼付業、ゴルフ場、遊園地・テーマパーク、機械修理業、広告代理業、物品賃貸業(リース業)の計。

(注4) パート比率の増減率(%)は前年度差。

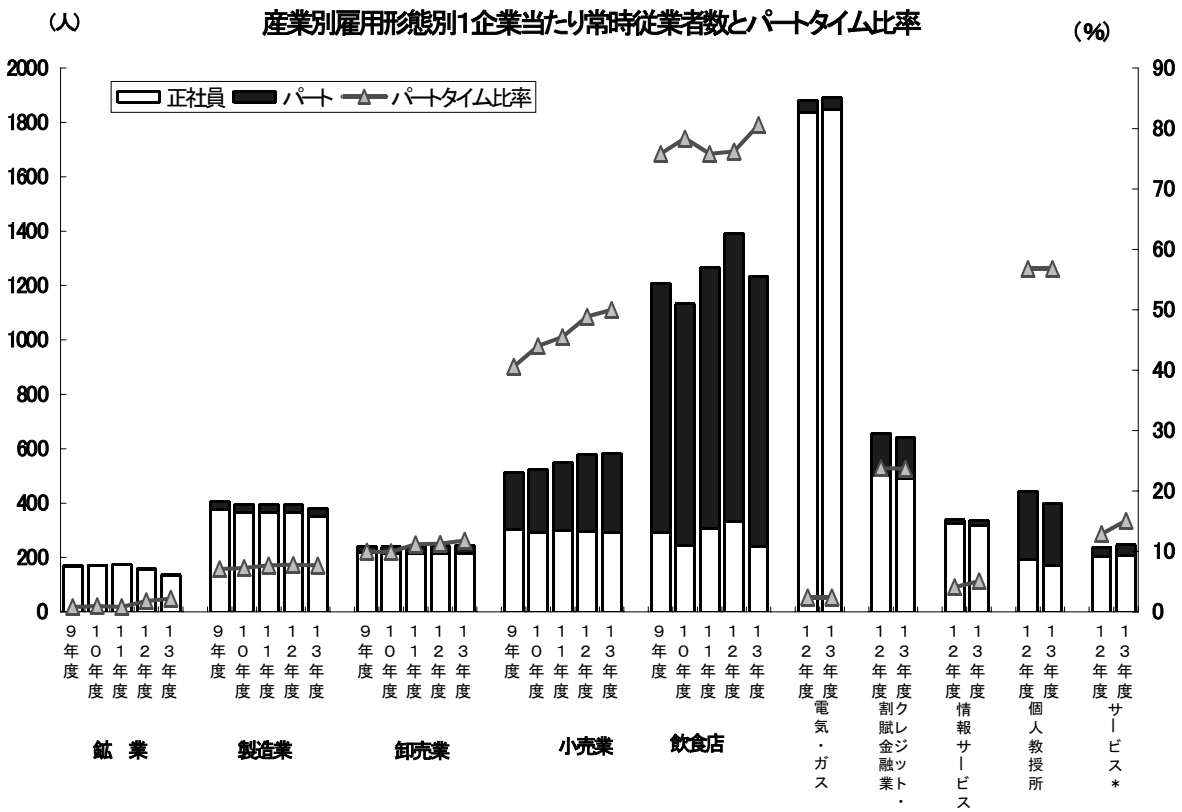
(2)パートタイム従業員の比率〔付表3、4参照〕

・常時従業員に占めるパート従業員の割合は21.3%、前年度に比べ1.2ポイント上昇。特に、小売企業は2人に1人がパート従業員。

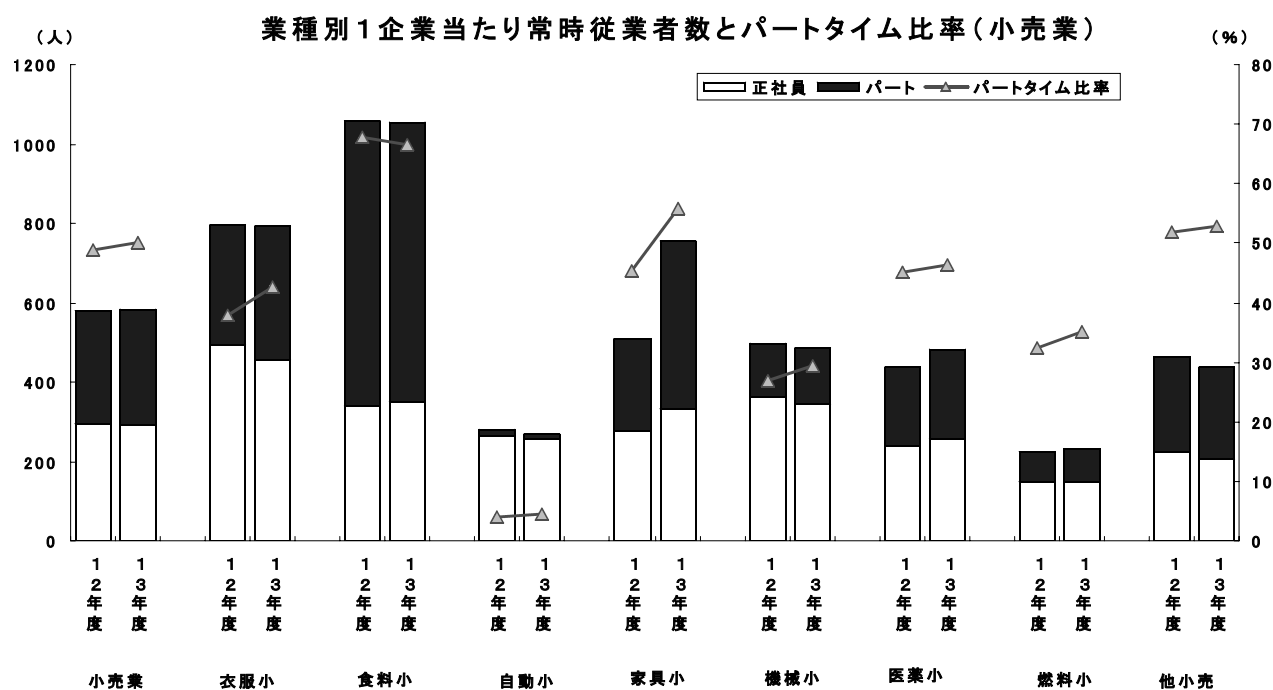
平成13年度の常時従業員に占めるパート従業員の割合（以下パート比率）は、21.3%、前年度に比べ1.2ポイントの上昇となり、正社員数が減少するなか、パート比率は高まった。

産業別にみると、特にパート比率の高い飲食企業では80.6%と前年度に比べ4.4ポイント上昇したのをはじめ、サービス企業（*）は15.1%と同2.2ポイントの上昇、情報サービス業・情報制作企業が5.1%と同1.0ポイントの上昇となった。

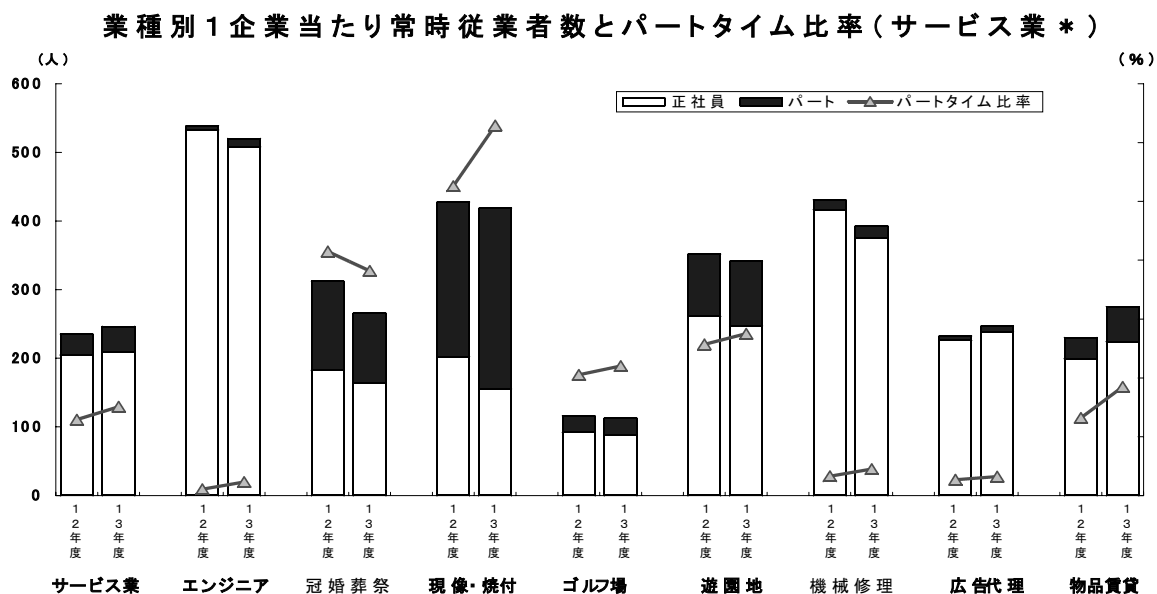
一方、製造企業、クレジットカード業・割賦金融企業、個人教授所企業のパート比率は、前年とほぼ横ばいとなった。



パート比率が前年度に比べ1.1ポイント上昇し、50.0%となった小売企業を業種別にみると、コンビニエンスストアなどの飲食料点小売業が、パート比率66.6%と前年度に比べ▲1.3ポイント低下したものの、家具・建具・じゅう器小売業が同10.4ポイント上昇し、パート比率が55.8%となったのをはじめ、専門的技術が必要とされる自動車・自転車小売業を除き、高いパート比率となっている。



サービス企業(*)のパート比率について業種別にみると、比率が最も高いのは写真現像・焼付業の62.9%で前年度に比べ10.2ポイントの上昇、逆に比率が低い業種は、エンジニアリング業(2.3%)、広告代理業(3.2%)、機械修理業(4.5%)等の専門性の高い業種となっている。



(3) 受入れ派遣従業者数〔付表3、4参照〕

- ・受入れ派遣従業者は、25万人、常時従業者に対する割合は2.4%。
- ・常時従業者に対する受入れ派遣従業者割合が高いのは、クレジットカード業・割賦金融企業。

企業の受入れ派遣従業者数（以下派遣従業者）は、25万人で、前年度比5.6%の増加となった。また、常時従業者に対する割合（以下派遣従業者割合）は、2.4%と、前年度に比べ、0.2ポイント上昇した。

産業別に派遣従業者数をみると、製造企業の15.5万人（前年度比1.9%増）が最も多く、次いで卸売企業の3.4万人（同11.9%増）、情報サービス・情報制作業の3.1万人（同5.7%増）となった。

従業者に対する派遣従業者割合が高いのは、クレジットカード業・割賦金融企業の13.0%、次いで情報サービス・情報制作企業の5.4%、サービス企業（*）の4.3%、製造企業3.1%等となった。

1企業当たりの受入れ派遣従業者は、9.3人となり、前年度に比べ4.8%の増加となった。産業別にみると、クレジットカード業・割賦金融企業が83.4人と最も多く、次いで情報サービス業・情報制作企業18.1人、製造企業の11.7人となった。

一方、少ない産業は、鉱業企業の1.1人、個人教授所企業の2.0人となった。

これを業種別にみると製造企業では、輸送用機械器具製造業の32.0人（受入れ派遣従業者割合4.7%）が最も多く、次いで情報通信機械器具製造業の30.3人（同2.8%）、電子部品・デバイス製造業の16.9人（同3.9%）となった。

卸売企業では、電気機械器具卸売業の12.5人（同3.4%）が最も多く、次いで鉱物・金属材料卸売業の8.5人（同3.3%）、医薬品・化粧品等卸売業の8.0人（同1.6%）となった。一方、最も少ない業種は家具・建具・じゅう器等卸売業の2.6人（同1.4%）となった。

小売企業では、機械器具小売業の6.5人（同1.3%）が最も多く、次いで、その他の小売業の2.9人（同0.7%）、織物・衣服・身の回り品小売業の2.7人（同0.3%）となった。一方、最も少ない業種は、燃料小売業の0.6人（同0.3%）となった。

サービス企業（*）では、エンジニアリング業の31.6人（同6.1%）が最も多く、次いで機械器具修理業の24.6人（同6.3%）、広告代理業の18.2人（同7.4%）となった。一方、最も少ない業種は、遊園地・テーマパークの0.9人（同0.3%）となった。

常時従業者数と派遣従業者数

| | | 常時従業者数(人) | 受入れ派遣従業者数(人) | | 常時従業者に対する派遣従業者割合(%) |
|--------------------|--------|------------|--------------|-----------|---------------------|
| | | | | 1企業あたり(人) | |
| 合計 | 12年度 | 10,519,571 | 236,512 | 8.9 | 2.2 |
| | 13年度 | 10,446,978 | 249,662 | 9.3 | 2.4 |
| | 増減率(%) | ▲ 0.7 | 5.6 | 0.4 | 0.2 |
| 鉱業 | 12年度 | 10,204 | 58 | 0.9 | 0.6 |
| | 13年度 | 7,856 | 61 | 1.1 | 0.8 |
| | 増減率(%) | ▲ 23.0 | 5.2 | 0.2 | 0.2 |
| 製造業 | 12年度 | 5,238,724 | 151,796 | 11.4 | 2.9 |
| | 13年度 | 5,037,918 | 154,711 | 11.7 | 3.1 |
| | 増減率(%) | ▲ 3.8 | 1.9 | 0.3 | 0.2 |
| 卸売業 | 12年度 | 1,562,747 | 30,033 | 4.7 | 1.9 |
| | 13年度 | 1,531,241 | 33,618 | 5.4 | 2.2 |
| | 増減率(%) | ▲ 2.0 | 11.9 | 0.7 | 0.3 |
| 小売業 | 12年度 | 2,033,045 | 7,815 | 2.2 | 0.4 |
| | 13年度 | 2,121,856 | 8,301 | 2.3 | 0.4 |
| | 増減率(%) | 4.4 | 6.2 | 0.1 | 0.0 |
| 飲食店 | 12年度 | 586,124 | 649 | 1.5 | 0.1 |
| | 13年度 | 606,043 | 1,272 | 2.6 | 0.2 |
| | 増減率(%) | 3.4 | 96.0 | 1.1 | 0.1 |
| 電気・ガス業 | 12年度 | 195,665 | 1,086 | 10.4 | 0.6 |
| | 13年度 | 191,080 | 1,014 | 10.0 | 0.5 |
| | 増減率(%) | ▲ 2.3 | ▲ 6.6 | ▲ 0.4 | ▲ 0.1 |
| クレジットカード業 割賦金融業 | 12年度 | 53,969 | 5,832 | 71.1 | 10.8 |
| | 13年度 | 50,689 | 6,586 | 83.4 | 13.0 |
| | 増減率(%) | ▲ 6.1 | 12.9 | 12.3 | 2.2 |
| 情報サービス・ 情報制作業 | 12年度 | 527,262 | 28,952 | 18.6 | 5.5 |
| | 13年度 | 565,830 | 30,613 | 18.1 | 5.4 |
| | 増減率(%) | 7.3 | 5.7 | ▲ 0.5 | ▲ 0.1 |
| 個人教授所 | 12年度 | 23,482 | 70 | 1.3 | 0.3 |
| | 13年度 | 21,996 | 111 | 2.0 | 0.5 |
| | 増減率(%) | ▲ 6.3 | 58.6 | 0.7 | 0.2 |
| サービス業(*) | 12年度 | 288,349 | 10,221 | 8.3 | 3.5 |
| | 13年度 | 312,469 | 13,375 | 10.5 | 4.3 |
| | 増減率(%) | 8.4 | 30.9 | 2.2 | 0.8 |

(注1)日本標準産業分類の改訂に伴い、12年度の数値は新分類により再集計したものであり、12年度の公表数値とは異なる。

(注2)合計は、鉱業、製造業、卸売業、小売業、飲食店、電気・ガス業、クレジットカード業・割賦金融業、情報サービス・情報制作業、個人教授所及びサービス業(*)の計。

(注3)サービス業(*)は、エンジニアリング業、冠婚葬祭業(互助会を除く)、写真現像・焼付業、ゴルフ場、遊園地・テーマパーク、機械修理業、広告代理業、物品賃貸業(リース業)の計。

(注4)受入れ派遣従業者数1企業当たり、及び常時従業者に対する派遣従業者割合の増減率(%)は前年度差。